



第72回ベルリン国際映画祭
ジェネレーション部門正式招待作品
アムネスティ国際映画賞
特別表彰



第23回釜山国際映画祭
ARTE International Prize
受賞

「国家を持たない世界最大の民族」と呼ばれるクルド人。埼玉県には2000人ほどのコミュニティが存在するが、クルド人が難民認定された例はないに等しい。そして、本作の企画が動きだした2017年当時より、出入国管理及び難民認定法(入管法)を巡る状況は、悪化の一途をたどっている……。

この現状を、17歳の少女の目線を通して描いたのは、是枝裕和監督が率いる映像制作者集団「分福」に在籍する新鋭・川和田恵真監督。イギリス人の父親と日本人の母親を持つ監督が、成長過程で感じたアイデンティティへの想いを元に、理不尽な状況に置かれた主人公が大きな問題に向き合う凛とした姿をスクリーンに焼き付け、本作を企画段階からサポートした是枝監督の「誰も知らない」(04)の系譜に連なる「日本の今」を映し出した。

主演は、5カ国のマルチルーツを持ち、Vivi専属モデルとして活躍する嵐莉菜。現役高校生である彼女が、主人公サーリヤが抱く複雑な感情を、デビュー作とは思えない堂々とした演技で、みずみずしく体現。そして、サーリヤが心を開く少年・聡太役を「MOTHER マザー」(20)で多くの新人俳優賞を受賞した奥平大兼が演じ、次世代を担う感性豊かな俳優たちと、新鋭監督とのフレッシュなタッグが実現した。さらに平泉成、池脇千鶴、藤井隆、韓英恵、サヘル・ローズらが、この新たな才能を支えている。

また、主題歌「New Morning」を書き下ろしたのは、注目のアーティストROTH BART BARON。スタッフに「ドライブ・マイ・カー」(21)の撮影・四宮秀俊、美術・徐賢先らが参加。そして、日本初の栄誉となる第72回ベルリン国際映画祭/アムネスティ国際映画賞スペシャル・メンションに輝き、世界からも大きな注目を集めている。

埼玉に住む17歳のクルド人サーリヤ。すこし前までは同世代の日本人と変わらない、ごく普通の高校生活を送っていた。だが、在留資格を失ったことから、当たり前前の生活が奪われてしまう。彼女が日本に居たいと望むことは、罪なのだろうか？

現代社会の矛盾をととも美しく
映画らしい構成で物語にした

—— ベルリン国際映画祭

世界中で起こりうる出来事を、
力強く語った作品

—— アムネスティ国際映画賞

嵐莉菜の魅力的な演技は
特筆すべき

—— THE FILM VERDICT



2022年 / 日本 / 114分 / 5.1ch / アメリカンビスタ / カラー / デジタル
mysmallland.jp @mysmallland

お問い合わせ 美浜町人権尊重啓発協議会事務局 (生涯学習センターなびあす内)

〒919-1141 福井県三方郡美浜町郷市29-3

E-mail jinkenkyo@town.fukui-mihama.lg.jp

TEL. 0770-32-1212

(8:30~17:15/休館日:月曜日)

■ アクセス

【お車ご利用の場合】舞鶴若狭自動車道若狭美浜ICより小浜方面へ約10分。もしくは若狭三方ICより敦賀方面へ約10分。なびあす駐車場(無料)をご利用ください。

【電車ご利用の場合】JR小浜線美浜駅より徒歩約10分。

